

2023年度 優良A型事業所認定（対象事業所）

1. hibino-kagayaki(北海道) reward株式会社
2. チャレンジドITセンター(栃木県) 認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ
3. コパン(栃木県) 有限会社コパン
4. ふれあいファクトリー(東京都) 社会福祉法人 豊芯会
5. フードサービス(東京都) 社会福祉法人 豊芯会

2023年度 優良A型事業所認定（対象事業所）

6. NATURAL GARDENくりのみ（長野県） 社会福祉法人くりのみ園

7. はっぴいミール（滋賀県） 社会福祉法人 共生シンフォニー

8. なんば就労センター（大阪府） 株式会社エウゼーン

9. パーソルネクステージ福岡（福岡県） パーソルネクステージ株式会社

認定の経緯

- 新認定基準の公開、募集 2022年 1月
- 書類審査 7月
- 実地調査 8～9月(4件)
- ヒアリング(Zoom) 8月(5件)
- 認定委員会 9月
- 優良事業所認定公表 10月14日
(就労支援セミナーin下関にて)

書類審査

認定基準に基づき 5つの評価分野について審査した

- * 健全な事業運営
(就労事業収支)
- * 良質な就労の場づくり
(賃金水準、労働時間・日数、能力開発・能力向上の取り組み)
- * 事業運営の重点
(支援力向上、支援困難者の受入れ等)
- * 労働環境
(多様な働き方、社会保険、最低賃金等)
- * 地域社会とのかかわり
(地域共生、情報開示等)

実地調査

基本的にZoomによるヒアリングとし、
必要に応じて現地調査を行い、厳正に実施した

- * 主に理念の具現化、事業の進化、障害者の自立・成長、
人権意識・虐待防止等について確認

認定委員会の審査

認定委員会において、書類審査及び実地調査に基づく審査を行ったところ、

応募9事業所すべての事業所が、所定の条件をクリアしており、優良A型事業所と認定した

総 評

○認定した全事業所の活動には「優良」の基盤となる以下の3つのポイントが共通している

- ①利用者の希望や特性に合わせた長期的な働き方を展望しつつ、企業等での一般就労を希望する利用者には適切に対応する等、個別性の高い支援を展開している
- ②利用者のリーダー登用や、事業所の目標達成へのコミットメント等、障害のある利用者の「ストレングス」を重視している
- ③障害のない職員や従業員、あるいは顧客等との関わり方等、地域の中で「インクルーシブな働き方」や取組みを希求している

* その上で、特徴的な取組みや支援のノウハウがひとつの事業所内で自己完結してしまうことなく、同じ法人内での連携の強化や地域における他のA型事業所に対して影響を与えていくような姿勢が重要

まとめ

○A型事業所や障害者就労については、なお多くの課題がある。
優良A型事業所の認定にあたって改めて実感したのは、
問題のあるところを叩くのではなく、
「良貨が悪貨を駆逐する」重要性。
優良な取組みの地道な積み上げと共有こそ、
利用者の利益につながる確実な道である。